

館山市立博物館年報

令和7年度版



はじめに

平素よりご来館ご観覧頂きまして、ありがとうございます。

令和7年は戦後80年の年であり、全国各地の博物館や教育機関で戦争にまつわる展示や講演会等の平和推進啓発事業が行われ、当館でも戦後80年企画展「東京湾要塞と館山」を開催しました。首都東京を防衛するために設置された東京湾要塞を中心に紹介し、メディアにも取り上げていただき、多くの方にご来場いただきました。戦後80年が経過した今、当時を知る方々、語り手も少なくなっている中で、「館山の戦争の歴史を知る」、「平和について考える」機会となりました。

また、収蔵資料展として「江戸時代の村と町」と題し、市内の江戸時代の絵図を中心とした展示も開催したほか、新収蔵資料展やテーマ展を適宜開催し、教育普及事業に積極的に取り組みました。

このほか、関東大震災の発災から100年を迎えた令和5年に企画展を開催しましたが、本年度もパネル展示を中心にテーマ展示「関東大震災と館山」を開催したほか、『関東大震災関係資料調査報告書』を刊行しました。過去の災害から歴史を学ぶ機会の一助になれば幸いです。

展示事業に加え教育・普及活動では、その時代・背景を読み解く歴史教室「古文書を読んでみよう」や公民館との連携事業ふるさと講座「わたしの町の歴史探訪」を開催、ミュージアム・サポーターによる文化財マップの発行など、情報発信にも努めています。

当館も地域資料の継続的な収集により、現在収蔵資料点数が約11万点となっております。令和7年は、全国的な課題として各地の収蔵庫の収蔵状況、民具資料の廃棄について大きな話題を呼びました。当館でも収蔵資料の整理分類をしっかりと行い、調査研究及びその成果の活用、情報発信に努めてまいります。

令和7年度版年報に掲載したあらゆる事業の成果は、各職員が担当事務に真摯に取り組んだ結果であると同時に、市民を初めとする多くの皆様方の支えがあったからこそと心より感謝いたしております。

これからも「郷土博物館としての役割」を果たせるよう、来館者の皆様の安全・安心の確保に努めながら、資料収集・調査研究・各種普及事業の実施に取り組んでまいります。

この年報をご覧いただき、これまでと同様、当館への皆様方からのご支援を頂戴できれば幸甚に存じます。

令和8年7月31日

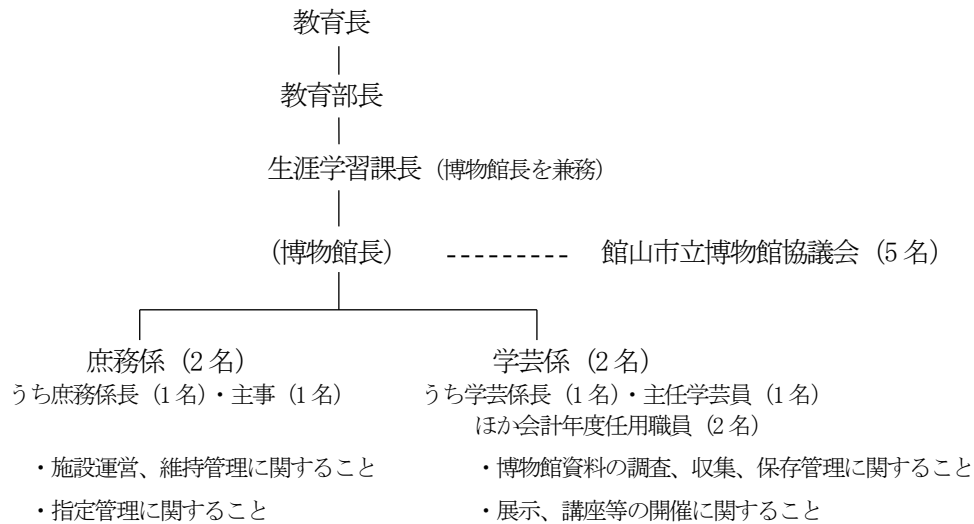
館山市立博物館長 中村 幸一

目 次

I 組織と運営	1
(1 組織図 / 2 施設 / 3 館山市立博物館協議会)	
II 利用状況	2
(1 入館者数 / 2 市内学校等の利用 / 3 資料の利用 / 4 入館者アンケート)	
III 展示活動	8
(1 常設展・テーマ展 / 2 企画展 / 3 その他)	
IV 教育・普及活動	14
(1 印刷物の発行 / 2 講座・教室 / 3 動画の公開 / 4 博物館実習 / 5 職場体験)	
V 調査・研究活動	18
(1 学芸員の活動)	
VI 資料の収集・保存	20
(1 新規収蔵資料)	
VII 施設運営・維持管理	22
(1 指定管理者との協働 / 2 主な施設改修)	
VIII 例規	23

I 組織と運営

1 組織図



2 施設

名 称		所在地	沿 革
館山市立博物館	本館	館山市館山 351 番地の 2	昭和 58 年 (1983) 開館
	館山城 (八犬伝博物館)	〃	昭和 57 年 (1982) 開館
館山市立博物館分館	“渚の駅” たてやま内 渚の博物館	館山市館山 1564 番地の 1	千葉県から旧安房博物館を移譲 平成 23 年 (2011) 開館

3 館山市立博物館協議会

(1) 委員 (任期：令和 6 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日)

区 分	氏 名	役職名等
学識経験者	梶山 林 繼	國學院大學名誉教授
学識経験者	清本 正人	お茶の水女子大学教授
学校教育関係者	鈴木 賢一	館山市立館山小学校長
社会教育関係者	石井 則子	元館山市社会教育委員
家庭教育の向上に資する活動を行う者	須田 啓子	元館山市家庭教育指導員

(2) 会議

開催日 令和 8 年 2 月 27 日 (金)

議題 (1) 館山市立博物館事業について

① 令和 7 年度事業実施状況

② 令和 8 年度事業計画 (案)

(2) 渚の博物館事業について

(3) 館山城 (八犬伝博物館) 運営状況 (指定管理業務) について

Ⅱ 利用状況

1 本館・館山城入館者数

◆令和7年度月別

(人)

月	合計	市内			市外			開館日数
		大人	小人	合計	大人	小人	合計	
4月	6,892	269	192	461	5,505	926	6,431	26
5月	6,071	128	35	163	4,782	1,126	5,908	27
6月	3,915	243	66	309	3,118	488	3,606	25
7月	3,536	190	30	220	2,756	560	3,316	27
8月	7,600	369	49	418	5,401	1,781	7,182	27
9月	4,426	336	20	356	3,668	402	4,070	25
10月	4,788	343	98	441	3,740	607	4,347	27
11月	5,802	254	171	425	4,449	928	5,377	26
12月	3,508	174	127	301	2,716	491	3,207	25
1月	5,018	241	66	307	4,000	711	4,711	27
2月	5,516	181	131	312	4,524	680	5,204	24
3月	8,010	296	133	429	6,340	1,241	7,581	26
合計	65,082	3,024	1,188	4,142	50,999	9,941	60,940	312

※別途、本館・館山城共通券の半券入館者あり

◆年度別推移

(人)

平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
50,338	37,704	48,036	50,371	61,090	53,003	64,932	65,082

参考：分館（渚の博物館）入館者数・年度別推移

(人)

平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
204,399	184,010	119,288	189,844	244,425	205,431	215,014	231,695

2 市内（立）学校等の利用

(1) 本館見学（学芸員の説明対応）

R7. 10. 23	館山市立館山小学校	13 名（本館展示見学）
R8. 2. 10	館山市立那古小学校	22 名（昔のくらし学習）
	館山市立神余小学校	10 名（昔のくらし学習）
2. 13	館山市立館野小学校	27 名（館山市の移り変わり）
	南房総市立三芳小学校	27 名（本館展示見学）
2. 17	館山市立豊房小学校	9 名（昔のくらし学習）
2. 18	南房総市立千倉小学校	55 名（昔のくらし学習）
3. 5	館山市立館山小学校	48 名（昔のくらしと館山の様子）
3. 19	館山市立白浜小学校	14 名（昔のくらし学習）

(2) 職場体験学習

R7. 11. 19～20 館山市立館山中学校生徒 1 名

3 資料の利用

(1) 放映・掲載など

申請日	資料名	掲載・放映媒体
R7. 4. 8	浅井家文書他	地方史研究協議会編『だから地方史研究はやめられない』（文学通信）
4. 10	版本『南総里見八犬伝』他	館山市商工会議所女性会冊子『ポピー』
4. 30	写真「館山市布良の器械潜水漁」	国立歴史民俗博物館総合展示第5展示室でのパネル展示
5. 1	版本『南総里見八犬伝』他	『まんがで読む南総里見八犬伝』（Gakkenn）
5. 8	森芳雪「八犬伝双六」他	館山城2階展示室常設展パネル展示
5. 8	立板古「大しん板切組とろうり見八犬伝 悪猫たいじの段」	館山城ミュージアムグッズ （塚原緑地研究所）
5. 12	ポイントロボス缶詰会社製アワビ缶詰（復元模型）	毎日新聞（南房総のアワビ文化関係）
5. 12	本館・館山城展示風景写真	ちばマガジン「月刊ぐるっと千葉」
5. 15	写真「国鉄駅長と早川雪舟」	テレビ朝日「家事ヤロウ！」
6. 9	版画「里見義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ図」他	京葉銀行情報誌「もっと知りたい！千葉のおもしろ博物館」
6. 20	写真「那古町の被災状況」	『市川市史 歴史編Ⅰ』（市川市）
6. 20	館山城展示風景	ウェブ番組「スズキご当地ドライブ」
6. 20	曲亭馬琴肖像画	『まんがで読む南総里見八犬伝』（Gakkenn）
6. 23	版画「義勇八犬伝 犬坂毛野」	『浮世絵大図鑑』（大和ビジュアル文庫）
6. 26	版画「見立八犬士之内 犬江親兵衛」他	日本酒のラベル

7. 4 館山市笠名採集石斧（当館寄託）
7. 14 版画「八犬伝 三浦の浜 里見義實 杉浦氏元」他
山梨県立文学館令和7年度企画展「ベストセラ
ー誕生！「南総里見八犬伝」の世界」印刷物
（ポスター・図録）、HP
ケーブルテレビ 296・ジェイコム千葉共同制作
番組「房総ご当地キャラバン〜観光&グルメ！
〜」館山市編
7. 23 版画「八犬伝忠勇揃」他
8. 2 勝山調「鶴谷八幡宮祭礼図」他
8. 13 写真「大房岬砲台の撤去」
8. 20 版本『南総里見八犬伝』他
8. 22 日在浦地引網漁図絵馬
8. 26 写真「里見義弘木像頭部（畑・瑞龍院所蔵）」
8. 26 『安房線建設概要』のうち「安房線線路平面図」
8. 30 『安房震災誌』のうち安房郡震災被害状況図 他
大西純夫『やわたんまち、どうでもいい百のお話』
読売新聞（大房砲台関係）
JCOM 番組「ちばのミライ 知事室へようこそ」
大学受験用模擬試験問題
『戦国の100人』（デアゴスティーニ・ジャパン）
鴨川市郷土資料館企画展「鴨川駅開業100年」
でのパネル展示
『東京湾学会誌』5巻1-2
グッズ制作
『図説 日本史通覧』（帝国書院）
和歌山県立紀伊風土記の丘特別展「遙かなる古
墳時代の海」パネル
千葉県立房総のむら令和7年度企画展「房総の
海辺のムラー漁撈から見た人々の暮らし」印刷
物（ポスター・図録）、HP
10. 10 布良港竣工記念写真 他
NHK「首都圏ネットワークおでかけしゅと犬
くん」
NHK「べらぼう〜蔦重栄華乃夢嘶〜」関連番組
「べらぼう紀行」第43回
グッズ制作
雑誌『時空旅人別冊 川本喜八郎の世界』
（株式会社三栄）
NHKE テレ「先人たちの底力 知恵泉（曲亭馬
琴）」
安房大神宮の森コモンプロジェクト編『大神宮
の森へ』創刊号
千葉県公式観光WEBサイト「ちば観光ナビ」
ポストカード作成
NHK「べらぼう〜蔦重栄華乃夢嘶〜」DVDBOX
宮間純一『戊辰内乱』（吉川弘文館）
「川越城下かさね地図」パネル展示
「里見の日」応援ポスター（館山信用金庫）
10. 14 版本『南総里見八犬伝』他
10. 17 「砲台縮図絵巻 洲崎台場」
10. 17 版本『南総里見八犬伝』第3輯表紙
10. 21 版本『南総里見八犬伝』
10. 28 版本『南総里見八犬伝』他
11. 4 「安房国全図」
11. 17 曲亭馬琴肖像 他
11. 20 版画「里見八犬士之内 大江親兵衛」他
11. 20 「砲台縮図絵巻 洲崎台場」
12. 5 神風隊袖印（当館寄託）
12. 17 「関八州田舎分限角力番附」
12. 18 版画「里見八犬士之一個 大江親兵衛仁」他

12. 26	宋版『孫真人玉函方』他	令和8年『新指定国宝・重要文化財図録』（文化庁・読売新聞社）
R8. 1. 14	版画「北条九代記鴻之台合戦」他	ポストカード作成
1. 18	版画「行徳 入江の湯」	行徳町・南行徳町合併70年記念動画
1. 29	版画「不二三十六景 安房鋸山」	読売テレビ「ミヤネ屋」
2. 4	版画「里見八犬士役者絵」	日本テレビ「ヒルナンデス」
2. 24	本館館内展示風景写真	休暇村館山会報誌『倶楽部Q』
3. 5	曲亭馬琴短冊 他	雑誌『大塚薬報』

(2) 調査

調査日	資料名	調査機関（目的）
R7. 5. 15	マイワイ型紙（県指定）	千葉大学デザイン文化計画研究室（デジタルデータ化・複製のための資料調査）
6. 18	松平定信『婆心録』	鴨川市郷土史郷土史研究会（調査研究）
6. 20	版画「八犬伝 三浦の浜 里見義實 杉浦氏元」他	山梨県立文学館（展示準備調査）
7. 18	版画「山海めで度い図絵」他	千葉県立房総のむら（展示準備調査）
7. 30	圓藏院所蔵資料一式	南房総市教育委員会（指定に伴う事前調査）
8. 6	新井浦絵図他	専修大学文学部（調査研究）
8. 7	房総半島の漁労用具（国指定重要文化財）	千葉県立房総のむら（展示準備調査）
8. 25	安房線建設概要	鴨川市郷土資料館（展示準備調査）
10. 10	宋版『孫真人玉函方』他	文化庁（重要文化財指定に係る事前調査）
10. 30	船越鉞切神社奉納独木舟 他	個人（調査研究）
12. 14	鳥海家文書（陰陽師文書）	個人（調査研究）
R8. 1. 28	圓藏院所蔵資料一式	南房総市教育委員会（指定に伴う調査・撮影）
2. 14	矯風規約	淑徳大学長谷川仏教文化研究所（調査研究）
3. 6	大寺山洞窟出土資料	市原市歴史博物館（展示準備調査）
上記の他、個人等による調査が72件あった。		

(3) 貸出

貸出期間	資料名	貸与先（利用目的）
R7. 8. 27～11. 29	『南総里見八犬伝』、新八犬伝人形『伏姫』他	山梨県立文学館令和7年度企画展「ベストセラー誕生！「南総里見八犬伝」の世界」（会期：R7. 9. 13～11. 24）
R7. 8. 26～9. 10	房日新聞連載小説「春の國」挿絵原画	ギャラリーsfk 原画展（会期：R7. 8. 28～9. 1）
R8. 1. 20～6. 30	宋版『孫真人玉函方』	京都文化博物館展示「令和8年新指定国宝・重要文化財」展（会期：R8. 4. 25～5. 17）

4 入館者アンケート

方 法 博物館本館入館者を対象に実施。無記名方式

期 間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

回答数 317 件

(1)性別

男性	女性	その他	無回答
138	123	1	55
43.5%	38.8%	0.3%	17.4%

(2)年齢

0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
53	61	43	16	22	27	37	39	17	2
16.7%	19.3%	13.6%	5.0%	6.9%	8.5%	11.7%	12.3%	5.4%	0.6%

(3)職業

小学生	中学生	高校生	大学生	その他学生	会社員	公務員	自営業	農業 漁業	主婦 主夫
65	23	8	13	1	60	22	11	4	14
20.5%	7.2%	2.5%	4.1%	0.3%	18.9%	6.9%	3.4%	1.3%	4.4%
無職	その他	無回答							
50	17	29							
15.8%	5.3%	9.4%							

(4)住まい

館山市内	市外（安房）	千葉県内	千葉県外	無回答
79	15	98	117	8
24.9%	4.8%	30.9%	36.9%	2.5%

(5)同行者 ※複数回答可

1人で	家族・親戚	友人	学校	その他団体	その他	無回答
91	161	34	17	12	4	2
28.7%	50.7%	10.7%	5.3%	3.7%	1.2%	0.6%

(6)見学回数

初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答
206	26	9	75	1
65.0%	8.2%	2.8%	23.7%	0.3%

(7)来館目的 ※複数回答可

常設展	企画展	講座 解説会	学習 宿題	調査 研究	館山城	公園	観光	その他	無回答
68	109	9	18	11	123	37	71	9	1

(8) 情報入手方法 ※複数回答可

ポスター チラシ	新聞	ガイド ブック	公園内	観光宿泊 施設	市WEB サイト	市SNS	その他	無回答
49	33	13	85	27	53	23	66	11

(9) 観覧料

適当	安い	高い	その他	無回答
173	91	23	24	6
54.6%	28.7%	7.3%	7.6%	1.8%

(10) 感想

非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答
172	114	26	0	2	3
54.3%	36.0%	8.2%	0.0%	0.6%	0.9%

Ⅲ 展示活動

◇年間展示計画

期 間	会 場	テーマ	企画展別 開館日数	企画展別 入館者数
通年	本館 1 階歴史展示室	常設展示		
通年	本館 2 階民俗展示室	常設展示		
R7. 3. 20(木)～7. 27(日)	本館 2 階企画展示室 A	テーマ展「関東大震災と館山」	112 日	25,709 人
R7. 4. 5(土)～7. 6(日)	本館 2 階企画展示室 B	テーマ展「岩崎巴人水墨画の世界」 (テーマ:「花」)	80 日	16,279 人
R7. 8. 2(土)～10. 19(日)	本館 2 階企画展示室 A・B	戦後 80 年企画展 「東京湾要塞と館山」	68 日	15,089 人
R7. 10. 25(土)～R8. 2. 18(水)	本館 2 階企画展示室 A	テーマ展「関東大震災と館山」	96 日	17,237 人
R7. 12. 6(土)～R8. 2. 8 (日)	本館 2 階企画展示室 B	新収蔵資料展 「あたらしい資料のご紹介」	51 日	8,220 人
R8. 2. 21(土)～4. 12(日)	本館 2 階企画展示室 A・B	収蔵資料展「江戸時代の町と村」	44 日	13,677 人
R7. 10. 25(土)～R8. 2. 15(日)	本館 2 階企画展示室前	コーナー展 「資生堂創業者 福原有信と館山」		
通年	分館 2 階常設展示室	常設展示「房総の海と生活」		
R7. 9. 30(火)～R9. 3	分館 2 階企画展示室	「房総の船大工」		
通年	館山城 1 階展示室	常設展示		
【前期】 R7. 7. 19(土)～8. 31(日)	館山城 2 階展示室	八犬伝プロジェクト「南総里見八 犬伝～宮田雅之と辻村寿三郎～ふ たつの八犬伝」 (指定管理者自主事業)		
【後期】 R7. 9. 6(日)～10. 26(日)				
R8. 2. 21(土)～4. 12(日)	〃	「宮田雅之 刀勢画展～第 1 章～」 (指定管理者自主事業)		

※「企画展別入館者数」は会期中の入館者数より算出。

※本館 2 階企画展示室は 2 部屋に分かれているため、南側展示室を A、北側展示室を B と呼称。

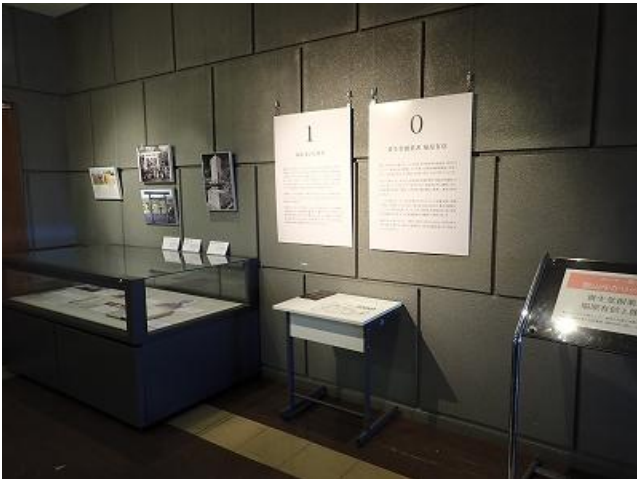
※以下、各事業の【】内は参加人数を示す。

1 常設展

本館では、歴史展示室と民俗展示室で常設展示を行ったほか、企画展示室では企画展で使用する時期を除き、テーマ展「岩崎巴人 水墨画の世界」「関東大震災と館山」、コーナー展「資生堂創業者 福原有信と館山」を開催しました。民俗展示室では、季節展示を行いました。

館山城（八犬伝博物館）では、1階展示室において、『南総里見八犬伝』を紹介する常設展示を行いました。

渚の博物館では、常設展示室で「房総の海と生活」をテーマとした常設展示を行いました。また、テーマ展示として、「房総の船大工」を開催しました。



コーナー展「資生堂創業者 福原有信と館山」(本館)



テーマ展「房総の船大工」(分館)

2 企画展

(1)戦後 80 年企画展「東京湾要塞と館山」

- ◆期 間 令和7年8月2日(土)～10月19日(日)
- ◆会 場 本館2階企画展示室A・B
- ◆概 要 明治時代に始まった東京湾の要塞化は終戦まで続き、東京湾を防衛するため房総半島と三浦半島には多くの砲台が設置されました。房総半島南部に位置する館山は大正末期に東京湾要塞地帯に組み込まれ、東京湾要塞の砲台だけでなく、館山海軍航空隊、洲ノ埼海軍航空隊、館山海軍砲術学校など多くの軍事施設が建設されました。終戦間際には館山市船形に東京湾要塞司令部が移され、要塞地帯内では撮影や模写が禁止されるなど制限が設けられ人々の生活にも影響しました。昭和20年(1945)に終戦を迎えた戦争から80年となる令和7年(2025)に開催した本展覧会では、地域に残された資料から東京湾要塞地帯に組み込まれた戦時下の館山やその周辺地域を紹介し、地域の歴史について市民が学びを深め平和を考える機会となることをねらいました。展示資料数130点。

- ◆印刷物 ポスター・解説シート・図録



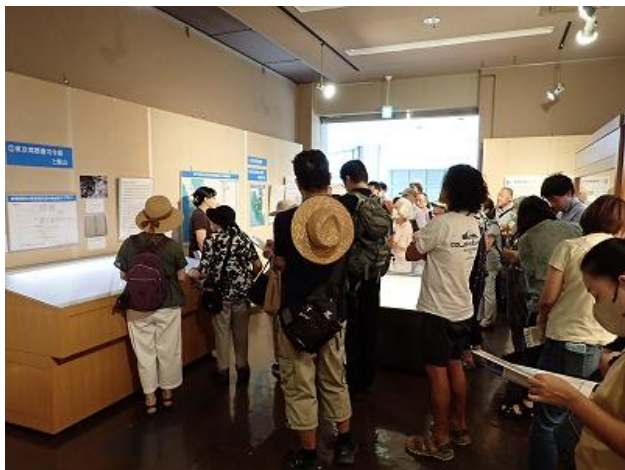
◆関連事業 展示解説会 8月2日（土）・9月7日（日）全2回 【計77人】

ふるさと講座プラスキッズ版「海上自衛隊館山航空基地を見学しよう」8月5日（火） 【10人】

赤山地下壕跡演奏会 ～赤山×音楽×平和～ 8月26日（火） 【55人】

解説動画（市公式 YouTube チャンネルにて公開）

◆展示担当者 山村恭子（主任学芸員）



企画展「東京湾要塞と館山」解説会



企画展「東京湾要塞と館山」

(2)新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」

◆期 間 令和7年12月6日（土）～令和8年2月8日（日）

◆会 場 本館2階企画展示室B

◆概 要 前年度、新たに収蔵された170点以上の資料の中から一部を紹介しました。展示構成は「まちの歴史」「観光」「戦争」「八犬伝」「暮らしの道具」「ゆかりの人々」の6コーナーです。新しく寄託となった円蔵院の密教法具や自性院の水晶製六角五輪塔形舍利塔、寄贈された観光パンフレット、岩崎巴人作品、購入した絵はがきなどさまざまな資料を展示しました。展示資料数63点。

◆展示担当者 山村恭子（主任学芸員）



新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」展示風景

(3) 収蔵資料展「江戸時代の村と町」

- ◆期 間 令和8年2月21日(土)～4月12日(日)
- ◆会 場 本館2階企画展示室A・B
- ◆概 要 江戸時代には、現在のほぼ大字を単位とした村や町がありました。本展示では、江戸時代の村と町の景観や人々の様子について、絵図などのビジュアル資料を中心に紹介し、身近な歴史に興味を持ち、地域への愛着を育む機会としました。全体を①安房の村と町、②村の風景、③町の風景、④村と町の人々の4章構成としました。展示資料数49点。
- ◆印 刷 物 ポスター・ワークシート「村と町の古文書を読んでみよう」
- ◆関連事業 ①展示解説会 2月28日(土)・3月29日(日)全2回
【計58人】
- ◆展示担当者 宮坂新(学芸係長)



収蔵資料展「江戸時代の村と町」解説会(第2回)



収蔵資料展「江戸時代の村と町」

3 その他

(1) パネル展「絵図士が知っている館山の見どころ文化財マップ展」

◆期 間 通年

◆会 場 本館2階休憩室

◆概 要 当館の市民ボランティアであるミュージアム・サポーター「絵図士」が、過去に作成した文化財マップを写真で紹介するパネル展示を、令和元年度より実施しています。数か月ごとにテーマを変え、「絵図士」が現地を再調査のうえ、数度にわたる打合せでパネル原稿を作成し、展示作業を行いました。本年度は前年度に調査した「城山周辺」(5月20日～8月31日)や「手力雄神社」(9月2日～2月8日)、「山萩神社と福楽寺」(2月10日～6月7日)の文化財を紹介しました。

◆展示担当者 絵図士(ミュージアム・サポーター)

①城山周辺(金久ひろみ、青木悦子、中屋勝義、刑部昭一、佐藤博秋、佐藤靖子、鈴木正、殿岡崇浩、山杉博子、岡田晃司)【10人】

②手力雄神社(鈴木正、青木悦子、殿岡崇浩、中屋勝義、山杉博子、岡田晃司)【6人】

③山萩神社と福楽寺(金久ひろみ、佐藤博秋、佐藤靖子、鈴木正、青木悦子、中屋勝義、山杉博子、殿岡崇浩、刑部昭一、岡田晃司)【10人】

◆展示監修 山村恭子(主任学芸員)



絵図士による展示調査風景(手力雄神社)



パネル展「山萩神社と福楽寺」

(2) 八犬伝プロジェクト「南総里見八犬伝～宮田雅之と辻村寿三郎～ふたつの八犬伝」 (指定管理者自主事業)

◆期 間 (前期) 令和7年7月19日(土)～8月31日(日)、(後期) 9月6日(日)～10月26日(日)

◆会 場 館山城(八犬伝博物館)2階展示室

◆概 要 千葉県内6ヶ所の美術館・博物館で「八犬伝プロジェクト」を開催しました。このプロジェクトは、朝日新聞連載小説「八犬伝」の挿絵を担当した宮田雅之氏とNHKテレビ人形劇「八犬伝」の人形を作成した辻村寿三郎氏の作品を展示し、各館のテーマや所蔵資料を基に特色ある展示を展開した企画です。館山城(八犬伝博物館)は指定管理者によって、宮田雅之氏の刀勢画64点、辻村寿三郎氏の人形14点、山田風太郎氏原稿、新八犬伝の脚本等の資料を前期・後期に分けて展示しました。このプロジェクトは国際ロータリー第2790地区から提案があり、県内の博物館・美術館と連携して企画が行われました。

◆展示担当者 指定管理者塚原緑地研究所

◆展示監修 山村恭子(主任学芸員)



(3) 「宮田雅之 刀勢画展～第1章～」(指定管理者自主事業)

◆期 間 令和8年2月21日(土)～4月12日(日)

◆会 場 館山城(八犬伝博物館)2階展示室

◆概 要 切り絵作家・宮田雅之氏が独自に確立した技法「刀勢画」によって描かれた山田風太郎氏の小説『八犬伝』の世界を紹介した企画展です。刀勢展とは一枚の紙を一本の刀で切り抜くことで表現される切り絵作品のことで、公益財団法人摘水軒記念文化振興財団より館山市立博物館へ寄託された作品が展示されました。

◆展示担当者 指定管理者塚原緑地研究所

◆展示監修 山村恭子(主任学芸員)



IV 教育・普及活動

1 印刷物の発行

(1) 館報「ミュージアム発見伝」第100号

◆刊行時期 令和8年3月25日

◆部 数 1,500部

◆概 要 令和7年度に開催した展覧会の概要紹介、企画展の調査成果、収蔵資料の紹介などの記事を掲載しました。

(2) 『館山市立博物館年報』（令和7年度版）

◆刊行時期 令和8年7月30日（市WEBサイト上にPDFにて公開）

◆概 要 令和7年度の利用状況・事業内容等を報告しました。

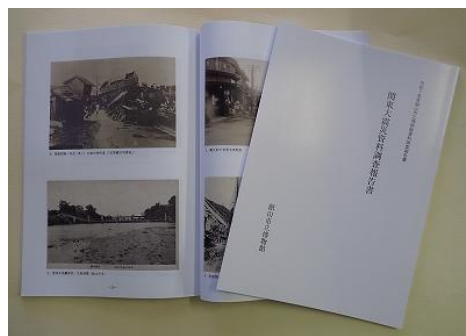
(3) 関東大震災資料調査報告書

令和5年度企画展「関東大震災と館山」の資料調査を基に、令和7年度館山市立博物館資料調査を実施し、関東大震災資料調査報告書を作成しました。

◆刊行時期 令和8年3月20日

◆概 要 第一章は記念碑編、第二章は写真編、第三章は文字資料編として館山市内に残る関東大震災関連資料を掲載しました。80頁。

◆刊行部数 1,000部



『関東大震災資料調査報告書』

(4) 文化財マップ

ミュージアム・サポーター「絵図士」が安房地域の文化財を調査して、地図と説明を表裏に印刷した文化財マップを作成し、博物館本館ロビーで配布しました。また、「わたしの町の歴史探訪」のマップを作成、配布しました。これらの文化財マップは館山市立博物館WEBサイト「たてやまフィールドミュージアム」に掲載します。

①「館山市内の陣屋・役所跡」

◆刊行時期 令和8年2月

◆概 要 館山市内に所在する旗本・大名の陣屋跡、海岸警備の陣屋跡、仙台藩や南部藩の廻船役所や民間の穀宿などの番所も含めた江戸時代に公的な役割を持った施設について、博物館ミュージアム・サポーター「絵図士」9人（青木悦子、岡田晃司、刑部昭一、金久ひろみ、佐藤博秋、佐藤靖子、鈴木正、殿岡崇浩、山杉博子）が調査し、文化財マップを作成しました。

②「館山市に残る近代建造物」

◆刊行時期 令和8年3月

◆概 要 館山市内に所在する明治時代の石橋や大正時代の灯台などの産業遺産、関東大震災からの復興のなかで建てられた銀行・商家・住宅などの近代建造物について、博物館ミュージアム・サポーター「絵図士」3人（愛沢香苗、丸山千尋、森田英子）が調査し、文化財マップを作成しました。

③「わたしの町の歴史探訪 北条地区新塩場・館山地区新井・下町周辺」

◆刊行時期 令和7年11月

◆概要 館山市北条地区新塩場・館山地区新井・下町周辺の文化財について、当館学芸員が調査し、文化財マップを作成しました。

2 講座・教室

(1) 歴史教室「古文書を読んでみよう」

◆開催日 令和7年6月～令和8年1月 各月第3水曜日（午前・午後）および第3土曜日（午前・午後）。
全4クラス各8回。

◆場所 本館1階集会室

◆概要 安房地域で作成された江戸時代の古文書をテキストとして、くずし字の読み方と地域の歴史を学ぶ初心者向けの講座です。感染防止のため各クラスの定員を従来の半数程度とし、4クラスを開講しました。

◆講師 宮坂新（学芸係長）

◆参加人数 水曜午前クラス 31人・水曜午後クラス 31人・土曜午前クラス 29人・土曜午後クラス 29人

(2) ふるさと講座「わたしの町の歴史探訪—新井・下町・新塩場—」（館山市中央公民館連携事業）

◆開催日時 令和7年11月2日（日）10：00～11：30

◆場所 館山地区新井・下町、北条地区新塩場

◆概要 職員が制作したマップを手に、館山地区の新井・下町、北条地区の新塩場を歩いてめぐり、地域の文化財について学びました。

◆講師 宮坂新（学芸係長） 解説・マップ作成

◆参加人数 25人



潮留橋の見学

(3) ふるさと講座プラスキッズ「海上自衛隊館山航空基地を見学しよう！」(館山市中央公民館事業)

- ◆開催日 令和7年8月5日(火) 9:30~12:30
- ◆場所 海上自衛隊館山航空基地、館山市立博物館
- ◆概要 企画展「東京湾要塞と館山」の関連事業として、館山海軍航空隊の跡地にある海上自衛隊館山航空基地の施設や博物館の展示を見学し、地域についての関心を高め、戦跡や市の移り変わりについて理解を深めました。
- ◆講師 海上自衛隊館山航空基地広報部、山村恭子(主任学芸員)
- ◆参加人数 10人

(4) 赤山地下壕跡演奏会 ～赤山×音楽×平和～(生涯学習課事業)

- ◆開催日 令和7年8月26日(火) 14:00~
- ◆場所 赤山地下壕跡
- ◆概要 企画展「東京湾要塞と館山」の関連事業として、館山海軍航空隊赤山地下壕跡で安房高等学校のギター部生徒が演奏を行いました。その後、赤山地下壕跡の見学を行いました。地域に残る戦跡について学び、鎮魂と平和への誓いにつながる機会となることを目的として開催しました。
- ◆演奏者 千葉県立安房高等学校ギター部
- ◆解説 山村恭子(主任学芸員)
- ◆参加人数 55人

(5) ミュージアム・サポーター「絵図士」養成講座「身近な文化財の調べ方を学ぼう」

- ◆開催日 令和8年1月18日(日) 13:30~15:00
- ◆場所 館山市立博物館本館集会室、屋外展示室
- ◆概要 博物館ボランティア活動への入口としてミュージアム・サポーター養成講座を開催しました。博物館の活動について紹介し、館山市や周辺地域にある文化財についての調べ方を学ぶ講義と調査実習を実施しました。活動中の絵図士も研修として講座に参加しました。博物館の活動について興味がある、博物館の活動に参加したい、文化財の調べ方を知りたい等さまざまな目的を持った受講者が講座を受講しました。受講者の中から1名が新しく絵図士の活動に加わっています。
- ◆講師 山村恭子(主任学芸員)
- ◆参加人数 13人

3 動画の公開

(1) 令和7年度企画展「東京湾要塞と館山」

- ◆掲載時期 令和7年10月
- ◆概要 戦後80年企画展「東京湾要塞と館山」の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約10分。

4 博物館実習

- ◆期 間 令和7年9月24日（水）～9月30日（火）うち6日間
- ◆人 数 4人（国土館大学、東京学芸大学、龍谷大学、八州学園大学）
- ◆概 要 学芸員資格の取得を目指す学生が、資料の取扱い実習、寄付資料の整理作業、本館・分館の展示替え作業、ワークシート作成など博物館の多様な業務を体験しました。今年度は、実習生が本館企画展示室の岩崎巴人展や分館企画展示室の展示替え（テーマ展「房総の船大工」）を担当し、資料の選定、キャプションの作成、展示作業といった展示に関する一連の作業を行いました。



博物館実習

5 職場体験

(1) 市内中学校

- ◆期 間 令和7年11月19日（水）～20日（木）
- ◆人 数 1人（館山中学校1人）
- ◆概 要 市内中学校の生徒が万祝を選んでキャプションを作成し、分館常設展示室の万祝コーナーに展示するなど博物館の活動を体験しました。

V 調査・研究活動

1 学芸員の活動

(1) 宮坂新（学芸係長）

◆担当事業

【展 示】本館常設展管理、収蔵資料展「江戸時代の村と町」

【教育普及】歴史教室「古文書を読んでみよう」、ふるさと講座「わたしの町の歴史探訪—新井・下町・新塩場—」（中央公民館連携事業）、広報連載「お茶の間博物館」分担執筆

【資料管理】寄付資料受入、資料購入、特別利用（閲覧、貸与）対応、収蔵庫管理

【調査研究】収蔵資料展準備調査

◆会議・研修等

なし

◆講師派遣・研究報告等

（令和7年）

・6月20日 講師派遣（館野地区公民館）講師「城山公園探訪」

・9月7日 館山市文化財保護協会 安房学講座（館山市コミュニティセンター）

講師「江戸時代館山町の他国出身商人」

・9月10日 講師派遣（特別養護老人ホーム微笑の里）講師「館山市の歴史」

・9月16日 波岡歴史講座（木更津市立波岡公民館）講師「房総里見氏の歴史と南総里見八犬伝」

・3月18日 生涯学習出前講座（安布里だんだん青空クラブ）

講師「地区の歴史を知りたい〜館野小校歌と孝子・三義民〜」

◆原稿執筆

・「【展示批評】兵庫県立兵庫津ミュージアム秋季企画展「イワシとニシンと兵庫津の商人」

（『地方史研究』434号、令和7年4月）

・「嘉永三年江戸近海巡見における宿所と館山町商人」（『館山と文化財』第59号、令和8年3月）

(2) 山村恭子（主任学芸員）

◆担当事業

【展 示】分館常設展管理、館山城常設展管理（指定管理者自主事業の監修を含む）、企画展「東京湾要塞と館山」、新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」、本館テーマ展「関東大震災と館山」、分館テーマ展「房総の船大工」

【教育普及】ミュージアム・サポーター絵図士（パネル展調査補助および展示補助、文化財マップ調査補助および編集）、ふるさと講座プラスキッズ「海上自衛隊館山航空基地を見学しよう！」（館山市中央公民館連携事業）、「赤山地下壕跡演奏会〜赤山×音楽×平和〜」（生涯学習課事業）、絵図士養成講座、広報連載「お茶の間博物館」分担執筆、館報編集、博物館実習、市内中学校職場体験

【資料管理】 寄付資料受入、借用・寄託資料の更新手続き、資料購入、特別利用（閲覧・貸与）対応、
分館収蔵庫管理

【調査研究】 令和7年度企画展準備調査、関東大震災資料調査、令和8年度企画展準備調査

【その他】 千葉県博物館協会（安房ブロック中核館）

◆会議・研修等

（令和7年）

- ・2月19日 千葉県博物館協会安房ブロック会議（鴨川シーワールド）
- ・2月26日 千葉県博物館協会ブロック代表者会議（オンライン）

◆講師派遣等

（令和7年）

- ・4月29日 イオンそだてタウン（イオンタウン館山）「甲冑着用体験」
- ・6月5日 生涯学習出前講座（館山市立神余小学校）講師「地区の歴史を知りたい（神余）」
- ・6月19日 生涯学習出前講座（安布里だんだん青空クラブ）講師「地区の歴史を知りたい（安布里）」
- ・9月19日 展示案内（木更津市立畑沢公民館）講師「房総里見氏の興亡・館山の歴史」
- ・10月16日 ふるさと講座（館山市中央公民館）講師「安房の船大工～消えゆく船づくりの技術～」
- ・10月22日 講師派遣（特別養護老人ホーム微笑の里）講師「ちょっと昔のくらしと道具」
- ・11月6日 講師派遣（館山市立北条小学校）講師「防災跡地をめぐる」
- ・11月9日 日本民具学会大会報告「旧千葉県立安房博物館移譲の経緯と現状
—重要有形民俗文化財「房総半島の漁撈用具」を中心に—」
- ・12月9日 講師派遣（南房総市立富浦小学校）講師「青い目の人形について」（公開授業）
- ・12月19日 生涯学習出前講座（国分ふれあいサロン）講師「地区の歴史を知りたい（長尾藩と館山）」

（令和8年）

- ・1月14日 生涯学習出前講座（九重地区公民館・館山市立九重小学校）
講師「地区の歴史を知りたい（市のうつりかわり）」
- ・2月5日 生涯学習出前講座（館山市立館野小学校）
講師「地区の歴史を知りたい（市のうつりかわり）」
- ・2月8日 令和7年度第3回文化財講演会（千葉県文化財保護協会）
講師「房総の迎え火と送り火～「やんごめくいくい」から見る盆行事～」
- ・3月12日 講師派遣（勝浦市教育委員会）講師「歴史ウォーキング」

◆原稿執筆

- ・「関東大震災と館山」（『東京湾学会誌—東京湾の水土—』5巻1・2号（通巻25・26号）、令和7年3月）
- ・企画展図録『東京湾要塞と館山』（館山市立博物館、令和7年7月）
- ・令和7年度館山市立博物館資料調査報告書『関東大震災資料調査報告書』（館山市立博物館、令和8年3月）

◆その他（委員委嘱等）

- ・令和7年9月21日ほか 「白間津のオオマチ」実行委員会（南房総市）

VI 資料の収集・保存

1 新規収蔵資料

令和7年度の新規収蔵資料点数は以下のとおりです。

	寄付	購入	移管	採集	受託	合計
点数	990	10	101	0	360	1,461

・受託資料のうち更新分は含まない。

(1) 寄付資料

寄贈者（敬称略）		資 料 名	数量
個人	館山市	館山市立博物館分館開館記念袱紗	1
加藤健二	南房総市	加藤家文書、書画、木像薬師如来立像他	483
平本紀久雄	館山市	撮影写真（水産資料）	1
小宮壽夫	南房総市	絵はがき「(千葉県千倉町名所) 円蔵院」他	3
川名匡史	安房郡鋸南町	「里見代々記」写本	1
仲山譲司	館山市	万祝	1
池田定明	館山市	掛軸「徹翁画人物図（薬喰図）」他	7
萩原法子	市川市	ポジフィルム「国司祭」他	4
常永たまみ	船橋市	初代後藤義光作「恵比寿・大黒天像」他	3
溝口フジ子	館山市	和船模型	1
株式会社安藤・間	東京都	岩崎巴人画「なまず」	1
三平晃人	館山市	三平家文書・書籍、写真、増間の御神祇的神事写真	34
岩崎慎二	神奈川県	岩崎家文書	151
鈴木トシ	館山市	『東藻会彙 地名箋』、『蓮の香』	2
嶋田富枝	南房総市	出征札、勲章・賞状（白色桐葉章）	3
菊池武史	東京都	岩崎巴人画「達磨」他	66
本間千舟	館山市	高射砲薬莢	1
木村雅一	埼玉県	軍人手帳	1
野倉由美子	館山市	八雲新聞綴	1
山形達哉	館山市	VHS テープ（館山神社祭礼）	2
塚原緑地研究所 館山事業所	館山市	映画『八犬伝』ブルーレイディスク	1
石塚由里香	東京都	岩崎巴人画「鑑」、「(月と松)」(封筒・書簡附属)	2
原瀬當枝	南房総市	原瀬家文書他	205
兒玉光男	館山市	脇差	1
神作英夫	館山市	長須賀「御備社」(オビシヤ) 歌、ほめ言葉	3

一部を除く。

(2) 購入資料

資料名	数量
山口志道和歌詠草「詠芳野山桜」	1
版画「朝比奈三郎義秀小人じま遊」	1
絵はがき「安房北條 鏡ヶ浦海水浴」	1
絵はがき「安房北條 鏡ヶ浦海水浴」	1
「房総の春 日帰りの遊びと一二泊の旅行」(鳥瞰図)	1

資料名	数量
関八州細見之図	1
番附 武術鑑	1
安房上総下総国洪水瓦版	2
版画「八犬伝評判楼閣」	1

(3) 移管資料

資 料 名	数量	旧保管者
JR 館山駅駅名標、案内板	2	市総合政策部企画課
市主催事業等ポスター他	46	市教育委員会生涯学習課
大寺山洞窟遺跡舟棺他	53	千葉県教育振興財団

(4) 受託資料（新規のみ。年度内に返却したものを除く）

寄託者（敬称略）		資 料 名	数量
公益財団法人摘水軒記念文化振興財団	柏市	宮田雅之作刀勢画	360

Ⅶ 施設運営・維持管理

1 指定管理者との協働

一部業務について、指定管理者による博物館運営を実施しました。

(1) 指定管理者

株式会社 塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫

(2) 期間

令和6年12月1日から令和11年11月30日まで（契約更新：5か年）

(3) 業務

① 本館

受付案内業務

② 館山城（八犬伝博物館）

受付案内業務、施設運営業務、維持管理業務

令和7年度自主事業実績

- ・ 八犬伝プロジェクト「南総里見八犬伝～宮田雅之と辻村寿三郎～ふたつの八犬伝～」
- ・ 館山城企画展「宮田雅之 刀勢画展 ～第一章～」
- ・ 夜桜ライトアップ
- ・ こいのぼり@城山公園
- ・ 七夕短冊作り
- ・ 謎解きゲーム「館山城を救え！第四章犬田小文吾の巻」開催
- ・ 正月3が日の館山城臨時開館
- ・ 館山城豆まきイベント
- ・ スカイランタン in 館山城
- ・ 館山城「里見の日ライトアップ」

2 主な施設改修

(指定管理者対応)

- ・ 館山城4階扉 雨漏り防止対策
- ・ 館山城入口案内看板修繕

VIII 例規

○館山市立博物館設置条例

昭和57年6月26日条例第15号

最終改正 令和5年3月23日条例第5号

(設置及び目的)

第1条 本市は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）に基づき、市の歴史、芸術、民俗、産業等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究を行うため博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
館山市立博物館	館山市館山351番地の2
館山市立博物館分館	館山市館山1564番地の1

(所管)

第3条 博物館は、館山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の所管に属する。

(事業)

第4条 博物館は、法第3条第1項の定めるところにしたがいおおむね次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行い、報告書等を公刊すること。
- (3) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。

(職員)

第5条 博物館に館長及び学芸員のほか必要な職員を置く。

2 前項の館長は、非常勤とすることができる。

(観覧料)

第6条 博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料（1人につき）			
	個人		団体（20人以上）	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	100円	200円	80円	150円
一般	200円	400円	150円	300円

2 前項の規定にかかわらず、特別展を開催している期間においては、博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料（1人につき）			
	個人		団体（20人以上）	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	150円	300円	100円	250円
一般	250円	500円	200円	400円

(観覧料の減免)

第7条 市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料を減免することができる。

(既納観覧料の還付)

第8条 既納の観覧料は、これを還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、還付することができる。

(博物館協議会)

第9条 博物館に館山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、7人以内とする。

4 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(指定管理者による管理)

第10条 教育委員会は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その

他の団体であつて教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に博物館の管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務）

第11条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- （1）博物館の運営に関する業務
- （2）博物館の維持管理に関する業務
- （3）博物館の観覧に係る料金（以下「利用料金」という。）の徴収等に関する業務
- （4）前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務（利用料金）

第12条 指定管理者が徴収する利用料金は、第6条の表に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、同項の規定により利用料金を定めることが適当でないと認める場合には、あらかじめ市長の承認を得て、利用料金を定めることができる。

3 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

（指定管理者が行う管理の基準）

第13条 指定管理者が行う管理の基準については、この条例及び館山市指定管理者の指定手続等に関する条例（平成18年条例第42号）に定めるもののほか、教育委員会が別に定める。

（読替え）

第14条 第10条の規定により指定管理者に博物館の管理を行わせた場合における第7条、第8条及び附則第2項の規定の適用については、第7条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料」とあるのは「指定管理者は、公益上その他必要と認めるときは、市長の承認を得て、利用料金」と、第8条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「市長が特別の理由があると認めたときは」とあるのは「指定管理者は、特別の理由があると認めると

きは、市長の承認を得て」と、附則第2項（見出しを含む。）中「観覧料」とあるのは「利用料金」とする。

（委任）

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、昭和57年10月1日から施行する。（観覧料に関する特例）
- 2 当分の間、館山市立博物館分館の常設展の観覧料については、無料とする。

※以下省略

○館山市立博物館管理規則

昭和57年9月23日教育委員会規則第8号

最終改正 平成31年3月22日教委規則第4号

（趣旨）

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例（昭和57年条例第15号。以下「条例」という。）に基づき館山市立博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、入館することができる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

2 館山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、特に必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

（休館日）

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- （1）毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）
 - （2）12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(観覧の手続)

第4条 博物館に入館し観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、条例第6条に規定する観覧料を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 条例第7条の規定により、観覧料を免除することのできる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき。
- (2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)で定める身体障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (3) 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)にいう知的障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)で定める精神障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (5) 市内に所在する老人ホーム、福祉作業所その他の福祉施設の入所者及びその施設の職員が、当該施設の行事として観覧するとき。
- (6) 市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校及び高等学校の園児、児童及び生徒並びにその引率者及び保護者が、当該学校等の行事として観覧するとき。
- (7) 前各号に定めるもののほか教育委員会が公益上必要と認めるとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者は、前項第1号から第4号までに規定する場合を除き、あらかじめ教育委員会に観覧料の免除の申請をしなければならない。

3 教育委員会は、観覧料を免除したときは、観覧券を交付するものとする。

(入館の制限)

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 所定の観覧券を所持しない者
- (2) 指導者、保護者又は付添人のない6歳に満たない者

(3) 泥酔者その他観覧者に不快の感を与えると認められる者

(4) その他管理上支障があると認められる者
(禁止行為)

第7条 観覧者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。
- (2) 許可なく博物館資料を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外で喫煙又は飲食すること。
- (4) その他、他の観覧者の妨げになる行為すること。

(損害賠償)

第8条 観覧者は、博物館資料、建物若しくは備品等を損傷し、又は滅失した場合には、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(読替え)

第9条 指定管理者(条例第10条に規定する指定管理者をいう。)に条例第11条に規定する業務を行わせる場合における第2条第2項、第3条第2項、第4条、第5条及び第6条の規定の適用については、第2条第2項中「館山市教育委員会(以下、「教育委員会」という。))は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第3条第2項中「教育委員会は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第4条中「第6条」とあるのは「第12条」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第5条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条第1項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同項第7号中「教育委員会が公益上必要と認める」とあるのは「指定管理者が公益上必要と認め、市長の承認を得た」と、同条第2項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、同条第3項中「教育委員会は」とあるのは「指定管理者は、市長の承認を得て」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第6条中「館長」とあるのは「指定管理者」とする。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和57年10月31日から施行する。

※以下省略

○館山市立博物館協議会運営規則

昭和59年4月24日教育委員会規則第5号

改正 平成17年8月19日教委規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例(昭和57年条例第15号)第10条の規定により館山市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長は、協議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、必要がある場合において、会長が招集する。

第4条 会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことはできない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係職員の出席)

第5条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(庶務)

第6条 会議に関する庶務は、館山市立博物館において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則(平成17年8月19日教委規則第11号)

この規則は、公布の日から施行する。

館山市立博物館年報

令和7年度版

発 行 日 令和8年7月31日

編集・発行 館山市立博物館

〒294-0036 千葉県館山市館山 351-2

TEL 0470-23-5212 FAX 0470-23-5213